Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業　出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分とB区分の両方

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	有

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能

その他を選択した場合	

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきざいだんほうじん　とうきょうふぃるはーもにーこうきょうがくだん 公益財団法人　東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　三木谷　浩史		
制作団体所在地	〒 163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2東京オペラシティタワー8階		
電話番号	03-5353-9521	FAX番号	03-5353-9523
ふりがな 公演団体名	とうきょうふぃるはーもにーこうきょうがくだん 東京フィルハーモニー交響楽団		
代表者職・氏名	理事長　三木谷　浩史		
公演団体所在地	〒 同上		
制作団体　設立年月	明治44年3月		
制作団体組織	役職員 別添	団体構成員及び加入条件等 別添	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	事業部　大谷絵梨奈
経理処理等の監査担当の有無	有	経理責任者名	鈴木美絵

<table>
<tr><td>制作団体沿革</td><td colspan="4">明治43年に名古屋に発足した音楽隊を母体として、昭和13年12月に「中央交響楽団」を結成。
昭和23年4月に「東京フィルハーモニー交響楽団」となり、昭和27年12月1日に財団法人として認可を受ける。平成24年4月1日に公益財団法人へ移行。日本で最も長い100余年の歴史をもち、約140名のメンバーでシンフォニーオーケストラとオペラ等の劇場オーケストラの両機能を併せもつ日本を代表するオーケストラ。
「定期演奏会」や「午後のコンサート」「第九特別演奏会」などの主催公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてのオペラ・バレエ演奏、NHKや民放における放送演奏などによりホールに来場できない国内外の聴衆に音楽を提供しています。年間約400公演程の高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開し、クラシック音楽の普及に努めています。</td></tr>
<tr><td>学校等における公演実績</td><td colspan="4">別添</td></tr>
<tr><td>特別支援学校における公演実績</td><td colspan="4">別添</td></tr>
<tr><td rowspan="6">参考資料の有無</td><td rowspan="4">A</td><td>申請する演目のチラシパンフレット等</td><td colspan="2">有</td></tr>
<tr><td>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</td><td colspan="2">有</td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合URL</td><td colspan="2">https://www.tpo.or.jp/education/bunka/index.php</td></tr>
<tr><td>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td>ID:</td><td>kodomoikusei03</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Aの提出が困難な場合</td><td>PW:</td><td>tokyophil100</td></tr>
<tr><td>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>※公開資料有の場合URL</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td>ID:</td><td></td></tr>
<tr><td>PW:</td><td></td></tr>
</table>

公演・ワークショップの内容　　【公演団体名　東京フィルハーモニー交響楽団　】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生
	○	小学生(中学年)		
	○	小学生(高学年)		
企画名	オーケストラ公演　≪東京フィルがやってきた！≫			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学校プログラム】(約85分休憩無し)　※中学校プログラムは別添 オープニング ♪ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース:映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番より 共演① カラダで「運命」を表現しよう！ ♪シャーマン兄弟:小さな世界(共演前の準備) ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1楽章 共演② フィンランディアに歌詞をつけよう！ ♪シベリウス:交響詩「フィンランディア」 オーケストラの伴奏で学校を歌おう！ ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三:『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」			

著作権	○	制作団体が所有		制作団体以外が所有する事項が含まれる		(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況

演目概要	≪オープニング≫ 華々しいファンファーレで演奏会の幕開けを演出します。 ≪楽器紹介≫ 各楽器をソロで聴いた後、楽器群[弦・木管・金管・打楽器]の特徴を生かした曲をそれぞれ演奏。 ≪指揮体験≫ 初めての指揮体験ではご存知「運命」に挑戦 ≪オーケストラの魅力≫ 本物のオーケストラによるサウンドを間近で体感していただきます。 ≪共演コーナー≫ みんなで作った学校オリジナルの「フィンランディア」をオーケストラの演奏と共に歌って、コンサートを締めくくります。 ≪アンコール≫ 児童にとって最も身近な歌である校歌を豪華なオーケストラアレンジで歌っていただきます。 最後はラデツキー行進曲で手拍子にて参加していただき会場が一体となり締めくくります。
演目選択理由	日本の西洋音楽教育の原点ともいえるクラシック作品を中心に選曲しました。 楽器紹介や指揮体験コーナーで身近に体感して頂くなど、音楽に、より興味を持って頂けるように工夫しております。 また、美しい旋律に、日本を含め世界各国の言語(歌詞)が付けられている交響詩「フィンランディア」を用いて、児童がオリジナルの歌詞を創作、学校オリジナルの「フィンランディア」を完成することで、児童の自己表現力、共同作業によるコミュニケーション能力と協調性を育くむことを目指します。
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	・指揮者体験コーナー 各校2～3名の児童に、ブラームス:ハンガリー舞曲第5番の一部分を指揮する事により、オーケストラをとり仕切るマエストロ(指揮者)の役割を体験してもらいます。 ・ボディパーカッション 音楽の原点である打楽器を児童自身の身体で体現することで、音楽への新たな興味を促します。 ・フィンランディアに歌詞を作ろう！ みんなで作ったオリジナルの歌詞をオーケストラと一緒に奏でられるよう、歌の指導を交えて最終確認します。
出演者	指揮者:円光寺雅彦、三ツ橋敬子　他 司会:山本愛香、塚本江里子　他 管弦楽:東京フィルハーモニー交響楽団(2管12型) ※オーケストラメンバーは別添「東京フィルハーモニー交響楽団　出演表」を参照下さい。

公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者:　68～71　名 スタッフ:　5　名 合　計:　別添　名	機材等 運搬方法	積載量:　4　t 車　長:　8　m 台　数:　1　台

【公演団体名　東京フィルハーモニー交響楽団　】

<table>
<tr><td>実施に当たっての
会場条件</td><td colspan="6">実施条件等確認書①をご確認ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">会場設営の所要時間
(タイムスケジュール)の
目安</td><td colspan="2">前日仕込み</td><td>無</td><td colspan="2">会場設営の所要時間</td><td>2.5～3　時間程度</td></tr>
<tr><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>到着</td><td colspan="2">仕込み</td><td>本公演</td><td>内休憩</td><td>撤去</td><td>退出</td></tr>
<tr><td>8時</td><td colspan="2">8時～11時</td><td>13時～14時30分</td><td>0分</td><td>15時～16時30分</td><td>16時45分</td></tr>
<tr><td colspan="7">※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">児童・生徒の
参加可能人数</td><td colspan="2">ワークショップ</td><td colspan="4">20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2">本公演</td><td colspan="4">20～400名程度まで対応可能です。(全学年対応)</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態及び内容</td><td colspan="6">≪本公演と連動した成果をあげるため、約2ヶ月前に派遣者数名が各学校へ赴きます≫
1)ミニ・コンサート
オーケストラや楽器の話などを交えながら、本物の楽器の音色や歌唱を聴いていただきます。
2)自己表現:みんなで歌おう
音楽を通して自分を表現することを、全員合唱を行うことによって理解します。
3)オリジナルの歌を作ろう
交響詩「フィンランディア」の一部分に学校オリジナルの歌詞を作ります。
そのための歌唱指導や発想の仕方を指導致します。</td></tr>
<tr><td>ワークショップ
実施形態の意図</td><td colspan="6">ワークショップでは、室内楽を鑑賞することで、音楽への理解を深めるだけでなく、ハーモニー(協調性)の大事さを学んでいただきます。
さらに「全員合唱を行うこと」で、協調性と自己表現を理解し、オリジナルの歌を作るという総合的な学習の場を作ります。</td></tr>
<tr><td>特別支援学校での
実施における工夫点</td><td colspan="6">演奏時間や共演内容を学校ごとに綿密に打ち合わせさせていただき、学校の特色に合わせ、児童生徒への負担が大きくならないように留意しながら、最大の効果を生む公演を行えるよう様々な点で調整します。また、児童の皆様と積極的に交流を図ってまいります。</td></tr>
<tr><td>実施可能時期</td><td colspan="6">実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</td></tr>
</table>

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】

項目制作団体組織	**役職員** [理事長] 三木谷浩史 [副理事長] 黒柳徹子 [専務理事] 石丸恭一 [常務理事] 工藤真実 [理事] 浮舟邦彦　大賀昭雄　大塚雄二郎　小山田隆　篠澤恭助 田沼千秋　寺田琢　遠山敦子　野本弘文　韓昌祐　平井康文　宮内義彦 [監事] 岩崎守康　山野政彦 [評議員] 8名 [事務局] 21名 **団体構成員及び加入条件等** 1) 団体構成員 [役員数] 26名 [団員] 133名 [団友] 50名 [事務局員] 21名 2) 主な構成員 [名誉音楽監督] チョン・ミョンフン [首席指揮者] アンドレア・バッティストーニ [特別客演指揮者] ミハエル・プレトニョフ [桂冠指揮者] 尾高忠明　大野和士　ダン・エッティンガー [アソシエイト コンダクター] チョン・ミン

リンク先	No.1	【公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団	】

学校等における公演実績	◆音楽鑑賞教室 教育委員会の委託による「音楽鑑賞教室」を毎年20公演程度開催。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、コンサートホールでのオーケストラによる音楽鑑賞教室が相次いで開催中止となった。その状況において、東京都世田谷区では音楽専科の教員の皆さんの熱心な行動により、区内全61校（のべ6500名の小学5年生対象）へ室内楽で生の音楽を届ける活動を実施した。 ◆提携事業 東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市との提携事業の一環として、青少年向けのワークショップ・公演を開催。 ◆子ども向け自主公演 2002年～2013年、自主事業「こども音・楽・館」を実施。新宿区、渋谷区等近隣区域の小学校において（養護学校含む）アウトリーチも行いました。 ◆文化庁巡回公演事業 平成26年度「文化芸術による子供の育成事業」にてB区分採択（5年間）を受け、北海道・北東北地域を担当。さらに令和元年度「文化芸術による子供育成総合事業」でB区分（3年間）継続採択を受け同地域を継続して担当。これまで東日本大震災の被災地域を含め、110校で公演を実施しました。 B区分採択の業務である「事業の広報活動」に関しては、各地域の教育委員会等と連携、学校とも連携しながら積極的に展開し、応募団体増加へ貢献しました。また、地域・一般の方々への事業告知として、合同開催校の促し、近隣の施設（特別支援学校や老人介護施設、保育園・幼稚園等）への声掛けを採択校を通じて行ったほか、地域新聞社やテレビ局へのアプローチに力を入れ広報宣伝活動へ従事し大きな成果を挙げました。 また、C区分に関しては令和元年・2年度と採択を受け、小編成でも充実した内容を提案し、全国各地域の子供たちへ事業を展開しています。

リンク先	No.1	【公演団体名 東京フィルハーモニー交響楽団 】
特別支援学校における公演実績	◆平成26年度「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」にて、2校実施。 実施校：北海道白糠養護学校（釧路市）、岩手県立宮古恵風支援学校（宮古市） ◆平成27年度 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象：新潟県立長岡聾学校 東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校：東京都立光明特別支援学校 ◆平成28年度東京都民間オーケストラ教育プログラム「東京都内に於ける特別支援学校コンサート」 実施校：東京都立清瀬特別支援学校 ◆平成29年度「Music Program TOKYO　特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校：東京都立王子特別支援学校 長岡市との提携事業の一環として実施。 対象：長岡市立総合支援学校、長岡市立高等総合支援学校 ◆平成30年度「Music Program TOKYO　特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校：東京都立白鷺特別支援学校 ◆令和元年度「Music Program TOKYO　特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施校：東京都立白鷺特別支援学校 ◆令和2年度「Music Program TOKYO　リラックス・パフォーマンス～世代、障害を越えて 楽しめるオーケストラ・コンサート～」 実施：東京文化会館・大ホール ◆令和2年度「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」 実施校：山梨県立盲学校、山梨県立特別支援学校桃花台学園 ◆令和3年度「Music Program TOKYO Workshop Workshop!コンビビアル・プロジェクト 特別支援学校におけるオーケストラ公演」 実施予定校：東京都立八王子西特別支援学校、東京都立町田の丘学園山崎校舎	

リンク先	No.2	【公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団	】

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【小学校プログラム】(約85分休憩無し) オープニング ♪ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース:映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ブラームス:ハンガリー舞曲第5番より 共演① カラダで「運命」を表現しよう! ♪シャーマン兄弟:小さな世界(共演前の準備) ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1楽章 共演② フィンランディアに歌詞をつけよう! ♪シベリウス:交響詩「フィンランディア」 オーケストラの伴奏で学校を歌おう! ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三:『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」 【中学校プログラム】(約90分休憩無し) オープニング ♪ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」 楽器紹介(弦楽器、木管楽器、金管楽器、打楽器の紹介) ♪ロジャース:映画『サウンド・オブ・ミュージック』より「ドレミの歌」 指揮者体験 ♪ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」より第1楽章 共演 「第九」をドイツ語で歌ってみよう! ♪ベートーヴェン:交響曲第9番「合唱付」第4楽章 共演 吹奏楽部との共演(学校任意) ♪ヴェルディ:歌劇『アイーダ』より「凱旋行進曲」 オーケストラの伴奏で学校を歌おう! ♪各校校歌 (Enc.) ♪外山雄三:『管弦楽のためのラプソディ』より「八木節」

リンク先	No.2	【公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団	】

出演者

コンサートマスター
近藤 薫　三浦 章宏　依田 真宣

第1ヴァイオリン
小池 彩織☆　榊原 菜若☆　坪井 夏美☆　栃本 三津子☆　平塚 佳子☆　浅見 善之
浦田 絵里　景澤 恵子　加藤 光　巖築 朋美　坂口 正明　鈴木 左久　高田 あきの
田中 秀子　中澤 美紀　中丸 洋子　廣澤 育美　弘田 聡子　藤瀬 実沙子　松田 朋子

第2ヴァイオリン
戸上 眞里◎　藤村 政芳◎　水島 路◎　宮川 正雪◎　小島 愛子☆　高瀬 真由子☆
石原 千草　出原 麻智子　太田 慶　葛西 理恵　黒沢 誠登　佐藤 実江子　二宮 祐子
本堂 祐香　山代 裕子　吉田 智子　吉永 安希子　若井 須和子　渡邉 みな子

ヴィオラ
須田 祥子◎　須藤 三千代◎　髙平 純◎　加藤 大輔○
伊藤 千絵　岡保 文子　曽和 万里子　高橋 映子　手塚 貴子
中嶋 圭輔　蛭海 たづ子　古野 敦子　村上 直子　森田 正治

チェロ
金木 博幸◎　服部 誠◎　渡邉 辰紀◎　黒川 実咲☆　高麗 正史☆　広田 勇樹☆
石川 剛　大内 麻央　太田 徹　菊池 武英　佐々木 良伸　長谷川 陽子　渡邊 文月

コントラバス
片岡 夢児◎　黒木 岩寿◎　小笠原 茅乃○
遠藤 柊一郎　岡本 義輝　小栗 亮太　熊谷 麻弥　菅原 政彦　田邊 朋美　中村 元優

フルート
神田 勇哉◎　斉藤 和志◎　吉岡 アカリ◎　さかはし 矢波　下払 桐子　名雪 裕伸

オーボエ
荒川 文吉◎　加瀬 孝宏◎　佐竹 正史◎　杉本 真木　若林 沙弥香

クラリネット
チョ・スンホ ◎　ｱﾚｯｻﾝﾄﾞﾛ・ﾍﾞﾝﾃﾞｭﾗﾘ ◎　万行 千秋◎　黒尾 文恵　林 直樹

ファゴット
チェ・ヨンジン◎　廣幡 敦子◎　井村 裕美　桔川 由美　森 純一

ホルン
齋藤 雄介◎　高橋 臣宜◎　磯部 保彦　大東 周　木村 俊介　田場 英子
塚田 聡　豊田 万紀　山内 研自　山本 友宏

トランペット
川田 修一◎　野田 亮◎　古田 俊博◎　重井 吉彦　杉山 眞彦　前田 寛人

トロンボーン
五箇 正明◎　中西 和泉◎　辻 姫子○　石川 浩　平田 慎　山内正博

テューバ
大塚 哲也　荻野 晋

ティンパニ&パーカッション
岡部 亮登◎　塩田 拓郎◎　木村 達志　鷹羽 香緒里　縄田 喜久子　船迫 優子　古谷 はるみ

ハープ
梶 彩乃　田島 緑

リンク先	No.2	【公演団体名	東京フィルハーモニー交響楽団	】

公演出演予定者数 （1公演あたり）	出演者 小学校プログラム：68名 （内訳） 指揮者：1名 司会者：1名 オーケストラ：66名 中学校プログラム：71名 （内訳） 指揮者：1名 司会者：1名 オーケストラ：69名 スタッフ人数は、どちらのプログラムの場合も5名です。

東京フィルハーモニー交響楽団　出演表

コンサートマスター　三浦 章宏、近藤 薫、依田 真宣

第1ヴァイオリン
小池 彩織
榊原 菜若
坪井 夏美
栃本 三津子
平塚 佳子
浅見 善之
浦田 絵里
景澤 恵子
加藤 光
巖築 朋美
坂口 正明
鈴木 左久
高田 あきの
田中 秀子
中澤 美紀
中丸 洋子
廣澤 育美
弘田 聡子
藤瀬 実沙子
松田 朋子

第2ヴァイオリン
戸上 眞里
藤村 政芳
水鳥 路
宮川 正雪
小島 愛子
高瀬 真由子
石原 千草
出原 麻智子
太田 慶
葛西 理恵
黒沢 誠登
佐藤 実江子
二宮 祐子
本堂 祐香
山代 裕子
吉田 智子
吉永 安希子
若井 須和子
渡邉 みな子

ヴィオラ
須田 祥子
須藤 三千代
高平 純
加藤 大輔
伊藤 千絵
岡保 文子
曽和 万里子
高橋 映子
手塚 貴子
中嶋 圭輔
蛭海 たづ子
古野 敦子
村上 直子
森田 正治

チェロ
金木 博幸
服部 誠
渡邉 辰紀
黒川 実咲
高麗 正史
広田 勇樹
石川 剛
大内 麻央
太田 徹
菊池 武英
佐々木 良伸
長谷川 陽子
渡邊 文月

コントラバス
片岡 夢児
黒木 岩寿
小笠原 茅乃
遠藤 柊一郎
岡本 義輝
小栗 亮太
熊谷 麻弥
菅原 政彦
田邊 朋美
中村 元優

フルート
神田 勇哉
斉藤 和志
吉岡 アカリ
さかはし 矢波
下払 桐子
名雪 裕伸

オーボエ
荒川 文吉
加瀬 孝宏
佐竹 正史
杉本 真木
若林 沙弥香

クラリネット
チョ・スンホ
アレッサンドロ・ベヴェラリ
万行 千秋
黒尾 文恵
林 直樹

ファゴット
チェ・ヨンジン
廣幡 敦子
井村 裕美
桔川 由美
森 純一

ホルン
齋藤 雄介
高橋 臣宜
磯部 保彦
大東 周
木村 俊介
田場 英子
塚田 聡
豊田 万紀
山内 研自
山本 友宏

トランペット
川田 修一
野田 亮
古田 俊博
重井 吉彦
杉山 眞彦
前田 寛人

トロンボーン
五箇 正明
中西 和泉
辻 姫子
石川 浩
小田 愛美
平田 慎
山内 正博
吉江 賢太郎

テューバ
大塚 哲也
荻野 晋

ティンパニ＆パーカッション
岡部 亮登
塩田 拓郎
木村 達志
鷹羽 香緒里
縄田 喜久子
船迫 優子
古谷 はるみ

ハープ
田島 緑
梶 彩乃

出演

管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

©上野隆文

1911年（明治44年）創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約130人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル　検索

指揮:

円光寺 雅彦

©三浦興一

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札響正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演など、幅広い活躍を続けている。

司会:

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士課程オペラ科修了。これまでに、数多くの演奏会やオペラに出演。2015年より、応募者多数の中からオーディションに合格しBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして活動、司会やナレーションも務める。また、論語指導士の資格を取得し、子ども論語ワークショップの講師を務める。クラシックから子どもの歌まで、ジャンルを越えて活動するソプラノ歌手。特技はなわとび。

知ってますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。
日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

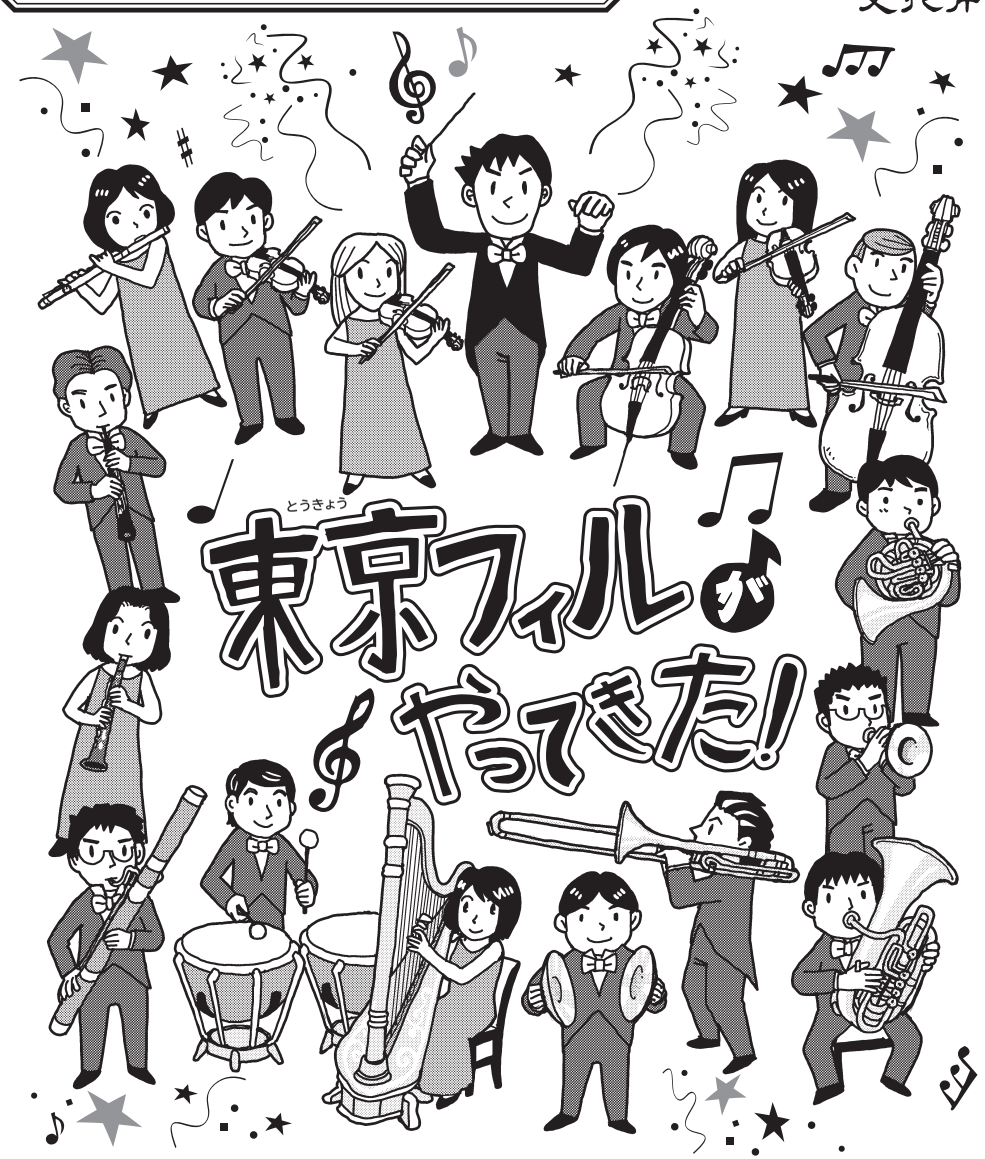
開催日程	開催校	地元主催者
9月10日（火）	平内町立山口小学校	青森県教育委員会、平内町教育委員会
9月12日（木）	奥州市立佐倉河小学校	岩手県／奥州市
9月13日（金）	一関市立猿沢小学校	岩手県／一関市
11月27日（水）	平川市立金田小学校	青森県教育委員会、平川市教育委員会
11月28日（木）	青森市立古川小学校	青森県教育委員会、青森市教育委員会

イラスト:こやま けいこ

月　日（　）　学校

令和元年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演

文化庁



「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

月　日のワークショップから、みんなで準備してきました

顔が見えるほど近い距離で東京フィルを聴けてよかった！

オーケストラの楽器もご紹介。

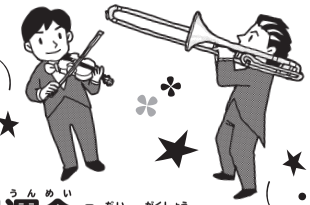
「ア～～～ウ！」
ボディーパーカッションで音楽に合わせてポーズ！

ボディパーカッション、きちんと練習しておきたいと思います！

みんなで歌詞を考えました。

プログラム

- ロッシーニ：歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」
  - オーケストラの楽器、紹介します〈楽器紹介コーナー〉
  - 指揮者になってみよう！〈指揮体験コーナー〉
- ブラームス：ハンガリー舞曲第5番



みんなで鳴らそう！
- シャーマン兄弟：小さな世界
- ベートーヴェン：交響曲第5番『運命』第1楽章より

みんなで歌おう！
- シベリウス：交響詩『フィンランディア』
- 校歌

解説

文：柴田克彦

ロッシーニ（1792-1868）：歌劇『ウィリアム・テル』序曲より「スイス軍の行進」

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍をえがいたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗ってかけていくような行進曲が、さっそうとくり広げられます。

ベートーヴェン（1770-1827）：交響曲第5番『運命』第1楽章より

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の“ジャジャジャ・ジャーン”という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した“ボディパーカッション”で、オーケストラといっしょに表現しましょう！

シベリウス（1865-1957）：交響詩『フィンランディア』

フィンランドの作曲家シベリウスが書いた、熱く力強い作品。ほかの国に支配されてきた国民の心を大いに勇気づけたこの曲は、フィンランドの第2の国歌として愛されるようになりました。美しい中間部には、いくつかの歌詞が付けられていますが、今回は、みんなで作ったオリジナルの歌詞で気持ちを込めていっしょに歌いましょう。

東京フィルがやってきた！

東京フィルのみんなと一緒に練習しました。

先生も歌詞を考えます。

コンサートは80名のフルオーケストラ……、今からとても楽しみです！

「ありがとう！」
「またコンサートで会おうね！」

そして今日！

速さにびっくり！
きれいな音でびっくり！
大迫力にびっくり！

みんなで鳴らそう！ ボディパーカッション

ロックのリズム	ドンッ！ タッ！ ドッドッ タッ！ ドッドッ タンッ！ ドンッ！ ヘイ！ Hey！
ラテンのリズム	トッ トッ トッ！ トン トン！ ウ！！ アー
日本のリズム	どん どん どん カカカッ どどんこどん！ はっ！

……クラシックはどんなふうに表現するかな？『運命』をいっしょにやってみよう！

みんなで歌おう！ フィンランディア

キーワードをたくさん出して歌詞を作りました

みんなで考えた歌詞でオーケストラと大合唱

管弦楽

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年（明治44年）創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約140人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル　検索

©上野隆文

指揮

©大杉隼平

三ツ橋 敬子

東京藝術大学及び同大学院修了。第10回A.ペドロッティ国際指揮者コンクールにて日本人として初めて優勝。第9回A.トスカニーニ国際指揮者コンクールにて女性初の受賞者として準優勝。2009年Newsweek Japan誌にて「世界が尊敬する日本人100人」に選出。2011年には、TBS系列ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に取り上げられた。

司会

塚本江里子

東京藝術大学音楽学部声楽科、同大学院オペラ科修了。これまでに数多くの演奏会やオペラ、ミュージカルに出演。ワークショップリーダーとして音楽ワークショップの制作にも携わる。2015年よりBSフジ「ポンキッキーズ」にて歌のおねえさんとして出演、司会やナレーションも務める。また論語指導士の資格を取得し子ども論語ワークショップを開催。ジャンルを越えて活動し、子どもたちに音楽の楽しさと学ぶ喜びを伝えている。

知ってますか？

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

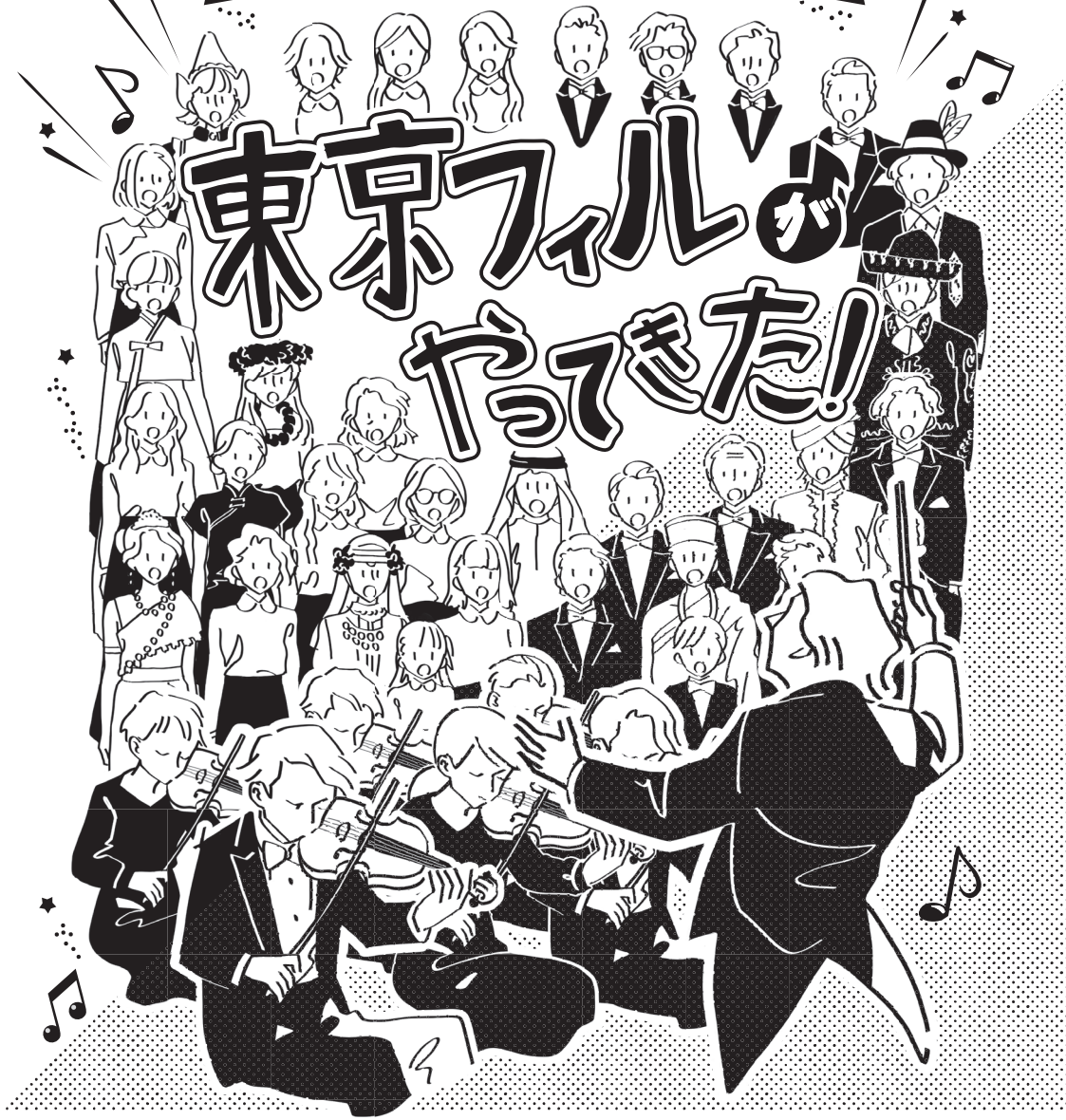
開催日程	開催校
9月2日（水）	鹿角市立花輪中学校
9月3日（木）	一関市立室根中学校

メインイラスト：タカハシマホ

月　日（　）　学校

令和2年度 文化芸術による子供育成総合事業 ―巡回公演事業―
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演

東京フィルがやってきた！



「文化芸術による子供育成総合事業―巡回公演事業―」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

―月―日のワークショップからみんなで準備してきました

ワークショップ、オープニングの様子。少ない人数で迫力ある演奏に釘付け!

弦楽器代表「ヴァイオリン」。音の出る仕組みを学びます。

管楽器代表「ホルン」。奥深い音色にうっとりです!

打楽器奏者は色々な楽器を演奏します。ワークショップでは音楽室の楽器を借用しました!

ワークショップでは「第九」の合唱をドイツ語で歌う練習をしました。

(鹿角市立十和田中学校)

また、本公演で会おうね! 歌の練習頑張ってね!

今日、いよいよ本番です!

プログラム Program

▶オープニング

𝄞 ロッシーニ　歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

▶楽器紹介

𝄞 ロジャース　『サウンド・オブ・ミュージック』より ドレミの歌

▶指揮体験

𝄞 ベートーヴェン　交響曲第5番『運命』第1楽章より

▶オーケストラと身体を動かしてみよう!

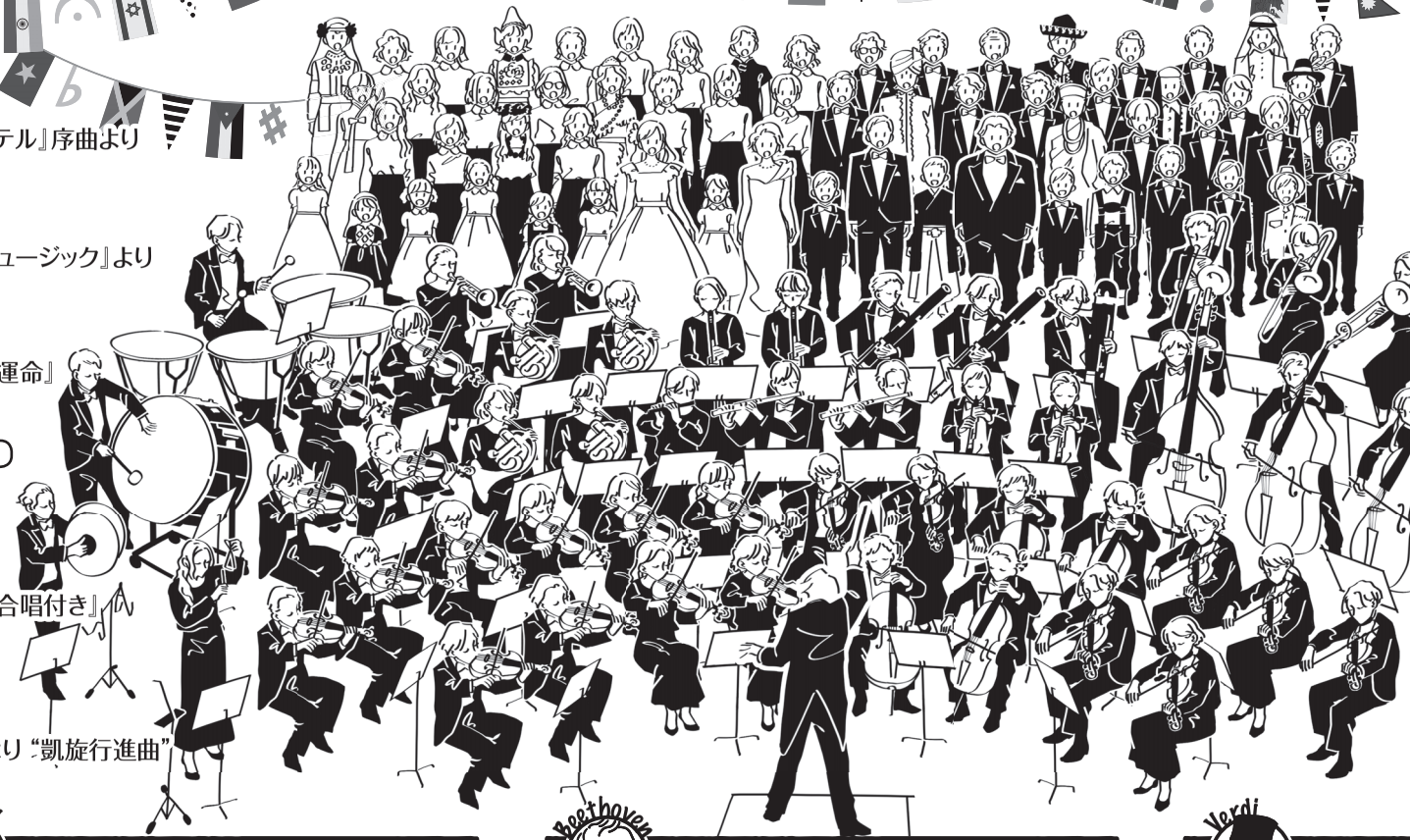
藤山一郎　新しい朝が来た
服部 正　ラジオ体操第一

▶「第九」を歌おう!

𝄞 ベートーヴェン　交響曲第9番『合唱付き』第4楽章より

𝄞 各校校歌の演奏

𝄞 ヴェルディ　歌劇『アイーダ』より“凱旋行進曲”



第九について About Beethoven's Symphony No. 9

解説=鉢村 優

「第九」が日本で初めて全曲演奏されたのは第一次世界大戦中、徳島県にあるドイツ人捕虜収容所でのこと。また、第二次世界大戦後、東西に分断されていたドイツが統一された際にも「第九」は演奏されました。かつて敵としていがみ合った人々が声を合わせて歌い、共に耳を傾けることで、同じ地球に生きる仲間として認めあったのです。このように「第九」は、バラバラになった人々の心をつなぎ、平和を願う音楽として歌い継がれてきました。人種も、生まれも、考え方も関係なく、友愛に満ちた世界を作ろう―「第九」は今も私たちにそう呼びかけています。

曲について Program Notes

解説=柴田克彦

ジョアキーノ・ロッシーニ (1792-1868) 歌劇『ウィリアム・テル』序曲より“スイス軍の行進”

イタリアの作曲家ロッシーニが、13世紀のスイス独立運動のヒーロー、ウィリアム・テルの活躍を描いたオペラから。幕あけ前に演奏される「序曲」の最後に流れる有名な音楽です。トランペットのファンファーレに始まり、馬に乗って駆けていくような行進曲が、さっそうと繰り広げられます。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770-1827) 交響曲第9番『合唱付き』第4楽章

ドイツの作曲家ベートーヴェンが1824年に完成したこの曲は、オーケストラ音楽だった交響曲に歌を取り入れたユニークな作品。“苦しみから喜びへ”というテーマが大きなスケールで描かれています。声楽が加わる第4楽章は、“人間愛による平和”を歌った有名な部分。メインの旋律は「喜びの歌」の名で親しまれています。

ジュゼッペ・ヴェルディ (1813-1901) 歌劇『アイーダ』より“凱旋行進曲”

イタリアを代表するオペラの作曲家ヴェルディが約150年前に書いた悲劇からの1曲。エチオピア軍を破って国に戻って来たエジプトの将軍ラダメスらが皆に迎えられる、華やかな場面の音楽です。トランペットに導かれて一行が歩みを進めるこのダイナミックな行進曲は、スポーツなどのイベントでもおなじみになっています。